

令和2年度学校評価

学校法人白百合学園 白百合幼稚園

★教育方針

- ①健康、安全で幸福な生活のための基本的な生活習慣・態度を育て、健全な心身の基礎を培う。
- ②人への愛情や信頼感を育て、自立と協同の態度及び道徳性の芽生えを培う。
- ③自然などの身近な事象への興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培う。
- ④日常生活の中で言葉への興味や関心を育て、喜んで話したり、聞いたりする態度や言葉に対する感覚を養う。
- ⑤多様な体験を通じて豊かな感性を育て、創造性を豊かにする。

★自己評価

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令などで、通常の保育を行うことが難しくなり、感染対策を行いながらの保育となった。感染対策としては、奈良県からの補助を受けて、バスに抗菌コーティング、空気清浄機や園児机や消毒液を、また飛沫防止パネルや手洗い後のペーパータオルの購入で感染対策を行った。また施設面では年長保育室からの外階段の点検修理、遊具の点検検査を行い、安全面の整備をした。年少用ラック・大太鼓セット・紙芝居や大型絵本（卒園生からの寄贈）や年少・年中用玩具や大型絵本（育友会からの寄贈）の購入により園児の活動に役立てることができた。

今年度は様々な行事や活動が中止となったり、感染防止のため様式の変更や規模の縮小を余儀なくされた。交通安全教室や生駒中学校二年生とのふれあい学習や職場体験は中止となったが、避難訓練は実施した。園外での活動ができない状況ではあったが、本園では農園で一年を通して、農作物の成長観察や収穫を体験したり、収穫物をそれぞれが持ち帰り、家族とともに料理をしたり、食べたりして、収穫の喜びを家族と共有することができた。

運動会や音楽会は学年やクラス単位の実施や発表となったが、保護者の方のご理解やご協力で無事に行い、子ども達の貴重な体験となり自信へとつながったと思う。初めての様々な感染対策やソーシャルディスタンス、マスク着用等、戸惑いながらも次第に順応していく子供たちの成長がみられた。

保護者のアンケートの結果を考察すると、概ね評価していただいたと考える。今年度は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言により4月、5月3週目までの休園となり、5月最終週からの分散保育により始業となった。そのため、お手紙や教材を郵送で各家庭に送ったり、ホームページからの動画閲覧が可能なようにシステムの変更を行い、子ども達と繋がるように努めたが十分ではなかった。また、保護者の方からのお問い合わせについてもご理解いただけるまでの十分な説明ができなかった。6月半ばまでは分散保育であったが、全園児での登園となった。当初は感染対策に戸惑っていた様子だったが、日に日に慣れて園生活を友だちと一緒にのびのびと楽しむ姿が見られた。感染対策に対しては教職員も慣れない中、園が運営できるよう協力して真摯に向き合った。コロナ禍という体験した事のない状況での保育は感染対策、行事の縮小変更等があり、教職員にとっても戸惑いや不安の中での保育であった。そのような状況であっても、子ども達の健康や成長のため、感染対策や保育を協力しながら進めていくことができた。対策は負担もあったが、皆で協力しながら、園児の健康を守ることができた。限られたオンラインでの研修のみではあったが参加し、休園期間もそれぞれがテーマを決めて自己研鑽に努めた。今後も続くコロナ禍ではあっても、子ども達が健やかにのびのびと成長するお手伝いができるよう、保育の質の向上のための努力を重ねたい。

緊急時や新型コロナウイルス感染対策の対応については、色々な意見を取り入れながら検討を重ね、保護者との連携を深め、万全の態勢を整えていく必要がある。

そして、幼児教育の重要性を再確認し、人格形成の基礎となる幼児期を預かる責任を真摯に受けとめ、研鑽を積みみたい。

★学校評価

令和3年9月1日（水曜日）に学校評価アンケート結果及び職員による自己評価を参考資料として会議を行った。

アンケート結果から、保護者は概ね園の教育を評価していると考えられる。

いろいろなお意見はあるが、コロナ禍の中で、行事もできるだけ実施できたことは良かった。

入園前の説明で正課や保育料諸費についても説明を行っているはずだが、やはり保護者全員に伝わっていないようなので、園としての説明が足りず理解を得られなかったのではないかと。その点も踏まえて保護者むけのお知らせやお手紙を分かりやすく、目を通してもらえるような工夫をする必要があるであろう。例えば、お知らせのフォーマット、サイズ等を統一するなどして分かりやすく読みやすい文章を心がける努力が必要である。今後は、紙ベースではなく、HPを利用したり、アプリを取り入れるなどして、時代に合った広報活動を取り入れる事を検討すべきであろう。

また、コロナ禍で幼稚園に行く機会が減ったり、参観に限られているので、出来るだけ子どもたちの園での様子を保護者にお知らせするために何か方法を検討していくことも必要だろう。

コロナ禍を踏まえた中で、子ども達にとってそれぞれの成長にそった工夫や配慮をしながら、豊かな感性や個性を伸ばせるよう、保育の質の向上に取り組んでほしい。

令和2年度学校評価アンケート集計結果

A・・・はい B・・・どちらともいえない C・・・いいえ

1. お子様にとって幼稚園はどうだったでしょうか？	A	B	C
①子どもは幼稚園に行くことを喜んでいる。	126	21	1
②子どもは幼稚園で、家ではできない様々な体験をしている。	146	2	0
2. 保護者の方にとってはどうだったでしょうか？			
①子どもを白百合幼稚園に入園させてよかった。	137	10	1
②幼稚園の教育方針に賛同している。	139	9	0
③子どものことについて、園や先生に相談できる。	133	15	0
3. 幼稚園の教育についてお聞きします。			
①園はお便り等で園の教育方針や考え等を、わかりやすく伝えようとしている。	129	19	1
②園は参観、懇談会等で、保育や子どもの様子がわかるように努めている。	133	14	1
③園は子ども一人一人を大切にしている。	127	20	1
④園は子どもの森や観察農園等、園内の自然を保育に生かしている。	148	0	0
⑤園は外遊びや体づくりなど、子どもの健康増進に努めている。	127	20	1
⑥園は不審者侵入や災害などに対する安全対策をとっている。	139	9	0
⑦園の正課(音楽指導・体育指導・英語指導・お茶のおけいこ)に満足している。	78	14	1
4. 預かり保育についてお聞きします。			
①預かり保育を利用したことがある。	113	/	45
②預かり保育の利用時間は今のままでいい。	109	29	6
③早朝預かり保育を利用した。	21	/	125
④夏休み等の長期休暇中の預かり保育を利用した。	49	/	98
5. 農園活動をはじめとする食育に関する質問にお答えください。			
①農園の話をお子様から聞いたことがある。	145	/	3
②農園での収穫物について、話を聞いたことがある。	146	/	2
③幼稚園で食べてから、ご家庭でも食べるようになった食べ物がある。	82	/	64
④食べることに興味を持つようになった。	105	/	42

令和2年度職員自己評価

A：はい

B：努めているが、十分とはいえない

C：いいえ

① 教育課程・指導		A	B	C
1	園の教育課程を理解し、それをもとに保育の計画を立てている。		○	
2	指導計画は常に見直しを行い、幼児の実態にあわせて変更している。	○	○	
3	それぞれの行事に幼児が積極的に参加できるよう指導している。		○	
4	教師の願いや意図を持ち、幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている。	○		
② 健康と安全への配慮				
1	朝の登園時には、視診を大切にし、子どもの体調が悪くないかを確認している。	○		
2	健康な心と体を育てるための食育に取り組んでいる。		○	
3	緊急事態発生時に教職員が役割を把握し、連携して行動ができるよう訓練をし、共通理解が図られている。	○	○	
③ 幼児のみとりと理解・対応				
1	一人一人の幼児をよく観察し、言葉にならない思いやサインを受け止め、関わるようにしている。	○	○	
2	幼児同志のトラブルに対し、適切な対応をしている。	○	○	
3	幼児の年齢や発達に応じたかかわり方をしている。	○	○	
4	特別に支援が必要な幼児には個別に記録するようにし、又園内において共通理解を図り、必要に応じて専門機関との連携をしている。		○	
④ 教師としての資質・能力・良識・適性				
1	幼児や保護者との対応には、公平さを心掛けている。	○		
2	園の教材等は節約して使い、後で使う人のことも考えている。	○		
3	職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。	○		
4	クラス内はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している。	○	○	
5	教職員全員でひとつのチームであることを意識している。	○	○	
6	他の意見を素直な気持ちで聞き、自分の意見を述べることができる。	○	○	
7	各自の担当や当番の事前準備を行い、仕事に取り組もうとしている。	○	○	
8	自然に対する感性をもち、命の尊さを感じている。	○		
⑤ 保護者への対応				
1	保育参観や懇談会では、子ども、保育、家庭でのあり方などについて共通理解を得るように努めている。		○	
2	保護者の話を心を開いて聞き、伝えるべきことは的確に伝え、信頼関係を作ることに努めている。	○		
3	園のすべての保護者に対し、挨拶や会話を心がけている。	○		
4	クレームや子育ての心配事をうけた場合は、謙虚に話を聞き、園長、副園長等へ連絡・報告・相談をしている。	○		
⑥ 地域の自然や社会との関わり				
1	地域の季節ごとの自然の移り変わりに常に興味を持っている。	○		
2	地域の人々と挨拶を交わしたり会話をするようにしている。		○	
⑦ 研修				
1	研修会には自己課題を持って進んで参加している。	○	○	
2	自分の保育について計画と反省を行っている。	○		
3	他園の見学をしたり公開保育を見てみたいと思う。	○		
4	園内で幼児理解を深めるための事例検討会等を行っている。		○	